

## REIMEI

一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌

黎明 Vol.38  
2025 春号  
Contents

## 特集

- ・4月から開始される定期報告における委託業務（保守点検も対象）の報告について
- ・10月から開始する「FIT初期支援スキーム」の買取価格が設定されました
- ・3月11日「金属盗難対策法」の法案が閣議決定しました（公布後、1年以内に施行する）

## ■地区会レポート

関東地区／中国四国地区／近畿北陸地区／中部地区

## ■会員企業紹介

スマート環境デザイン(株)／(株)ライジングコーポレーション  
(株)グリーンエナジー・ファンリティーズ／(株)RST

## ■EMA認定校訪問

協会員企業による専門学校授業への講師貢献

## エネルギーの安定供給と脱炭素の両立

一般社団法人日本PVプランナー協会 副理事長 石丸貴樹



陽春のみぎり ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2025年2月18日に「第7次エネルギー基本計画」が閣議決定され、2040年までに温室効果ガスを2013年比73%削減、エネルギーの安定供給・経済成長・脱炭素の同時実現の推進が発表されました。DX・GXを推進していく中で電力消費量の増加が見込まれ、エネルギーの安定供給と脱炭素の両立が必須であることから、再生可能エネルギーを主力電源とするため最大限の導入が必要とされます。計

画では再エネの電源構成22.9%のうち太陽光発電が9.8%（2023年度）から再エネ電源構成4～5割程度のうち太陽光発電が23～29%程度（2040年度）と報告がされております。これらを実現させるには、より多くの個人・企業・自治体への認知度を徹底していくことと、導入コストの最適化と導入後のベネフィットを今まで以上にご理解いただくことが必要となります。

協会におきましては今後皆様にとって必要とされる勉強会・研修会・現地見学会などを開催する予定です。この非常に大きな市場をしっかりと皆様方ご自身の実績につなげていくことが計画を達成することとなります。皆様にとって必要とされる協会であるよう邁進してまいります。

## 一般社団法人 日本 PV プランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

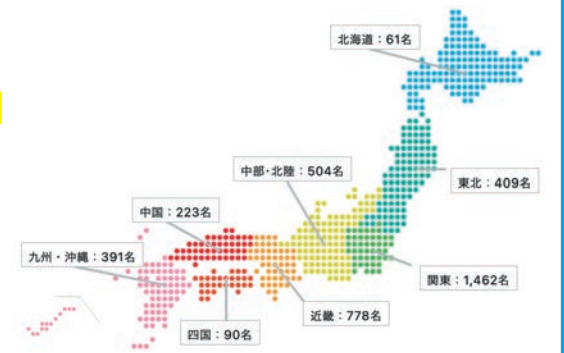
以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

## EMA認定

一般社団法人日本 PV プランナー協会では EMA（エネルギーマネジメントアドバイザー）の認定を行っております。2015年～2025年3月14日時点において認定者総数：3920名となっております

- ・一般認定者（個人・企業社員）認定者：3227名
- ・電子専門学校（学生）認定者：693名 です。

広く一般（個人・企業社員）から専門学校（学生）にまで EMA の考え方や知識を広めることで脱炭素社会の構築に貢献したいと考えております。

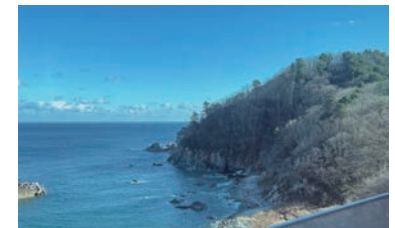


## 事務局だより

昨年、東北北3県をめぐるツアーに参加しました。東北北3県を観光するのは初めてのことで楽しみなツアーでした。仙台駅からバスに乗り南三陸町の旧防災対策庁舎を見学しました。東日本大震災にともなう津波で被災した地上から高さ約12メートルの屋上に避難場所があります。当初の6m という津波予想のため、庁舎に留まり避難しなかったのが、犠牲者を大きくする一因となりました。2階に危機管理課があり、町災害対策本部が置かれた、といいます。当時の女性のアナウンスの声がい出されます。しっかりとした鉄骨が残っていてとても驚きました。



それから、陸前高田の奇跡の一本松を見に行きました。奇跡の一本松の後ろにある建物が「旧陸前高田ユースホステル」です。津波で建物の一部は倒壊したものの奇跡の一本松と同じく「希望の象徴の遺構」として残されることになりました。なお、奇跡の一本松が流されずに残った理由の一つとして、この陸前高田ユースホステルが一本松の防波堤になったとされています。その後、三陸鉄道に乗って陸中海岸の美しい景色をみました。（佐野）



お問い合わせは…



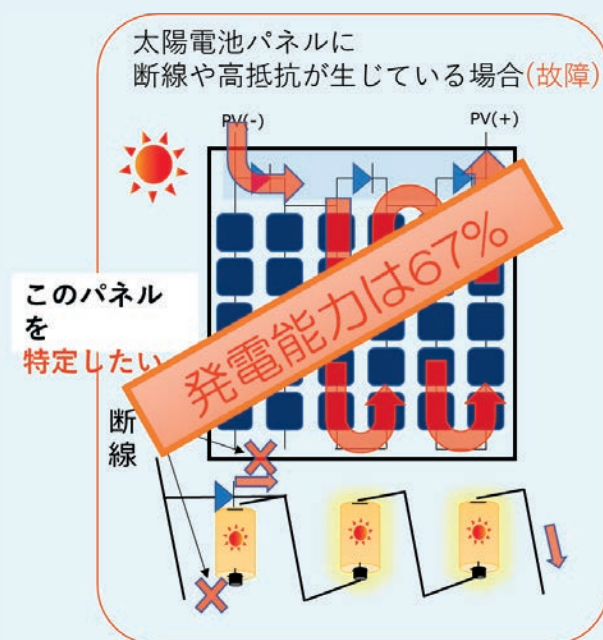
## 一般社団法人 日本 PV プランナー協会

〒101-0061  
東京都千代田区神田三崎町3丁目2番13号  
秋和ビル202号室  
TEL：03-6256-9970／FAX：03-6256-9971  
Web <https://pv-planner.or.jp>  
Mail [support@pv-planner.or.jp](mailto:support@pv-planner.or.jp)

制作・編集：(株)電設出版



# 最小限の労力で パネルを 無償交換する方法



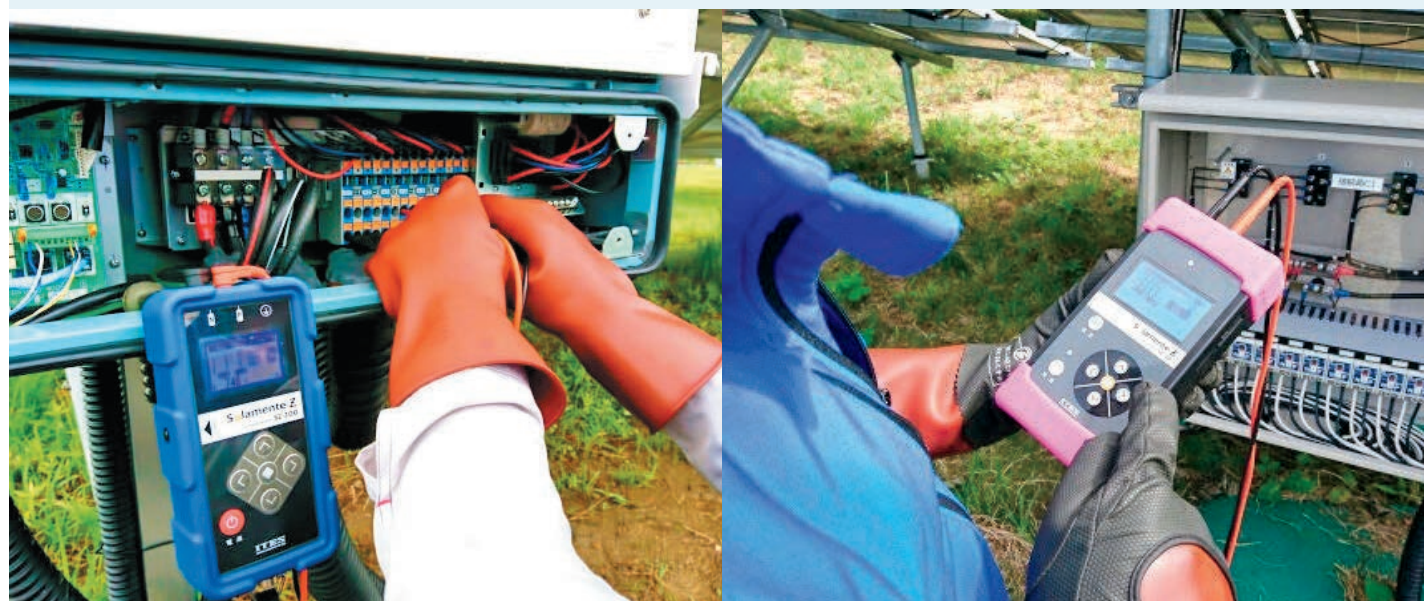
## Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは ソラメンテ

お問い合わせ TEL. 03-3255-8035  
東洋計測器株式会社 FAX. 03-3255-8076

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル  
URL: <https://www.keisokuki-land.co.jp/>

株式会社 アイテス  
〒520-2151 滋賀県大津市栗林町1番60号  
製品開発 TEL.077-599-5040 FAX.077-544-7712  
URL: <https://www.solamente.biz/> e-mail: [sales02@ites.co.jp](mailto:sales02@ites.co.jp)



## ホームページのリニューアルを実施しました！

### 省庁等への意見提案と 提言書提出

当協会では省庁訪問を行い、現場で起きている課題について資料を作り、意見を交換しております。また、同様に自治体や業界団体とも行っております。

### 省庁への意見提案と提言書提出

2025年01月21日	経産省新エネルギー課	資料提出と意見交換
2025年01月21日	環境省地球温暖化対策課	資料提出と意見交換
2025年01月21日	経産省新エネルギー課	資料提出と意見交換
2025年01月21日	環境省地球温暖化対策課	資料提出と意見交換
2025年01月21日	環境省地球温暖化対策課・リサイクル室、東京都環境部に資料提出と意見交換	

### 重要情報ピックアップ

当協会では協会員にメルマガ配信で重要情報ピックアップとして公開しています。また省庁ごとに分けてガイドラインや資料を掲載しています。特に公開はされているもののどこを探せばいいかわからない資料も整理し掲載しております。

### 令和7～8年度（2025～2026年度）の施策・法令の情報・委員会資料

2025年03月24日	【太陽光発電所の立ち入り検査の増大と法令違反によるFIT交付金の一時停止命令が始まっています】
2025年01月23日	【太陽光発電の集約化についての審議会資料】
2025年01月23日	【2025年4月からのFIT買取価格と10月から初期投資スキーム買取価格が設定されました】
2025年01月23日	【太陽光発電盗難被害に対する金属くず買取業者・犯行工具に関する規制について】
2025年01月23日	【タンデム型太陽電池によるリプレースの可能性についての審議会（参考）資料】

### セミナー映像 閲覧はこちら

当協会では、リアル地区会で行った各種セミナー映像+資料やWEBセミナー映像+資料を項目別に分けて掲載しております。協会員の社内勉強に活用していただきたく、映像とともに投影した資料もダウンロードできるようにしており、その時に参加できなかった方にも見やすくしています。また後日、活用したくなった時に探しやすいよう項目別にしました。

会員専用ページとして会員にのみ活用可能となっています。

### 協会員・賛助会員

#### 全国会員大会・政策関連

資料を見る

#### 産業用太陽光発電 自家消費・PPA等・併設蓄電池関連

資料を見る

#### 産業用太陽光発電 FIT・FIP関連

資料を見る

#### 営農型太陽光発電関連

資料を見る

#### 産業用太陽光発電 O&M関連・盗難対策

資料を見る



## 4月から開始される定期報告における 委託業務（保守点検も対象）の報告について

4月以降、定期報告において以下の報告が義務化されています

定期報告登録→運転費用→定期報告登録（太陽光（10kw以上））「運転費用報告」に以下の記載項目が追加されています

- ①委託契約書（保守点検契約書に含まれていれば構わないそうです）の有無  
自社点検の場合は、☒ 遵守事項実施報告の中に、☐ その他自主点検記載項目があります
- ②保守点検報告書

甲（認定事業者／発電事業者）が乙（保守点検業者）に保守点検を委託する際に以下の委託契約の締結が必要

- ①委託先と書面で契約書を締結し、当該契約書において、委託先が認定計画や認定基準（関係法令の遵守含む）に従う旨を明確化すること（記載が必要）
  - ②当該契約書において、委託先に関する監督および認定事業者に対する報告に関する事項の明確化（記載）
  - ③委託契約のうち主要な部分を再委託場合には、認定事業者の事前同意などが必要である旨を明確化（記載）
- ※「保守管理業務委託基本契約書」のように契約書に「委託」を記載

※ 2024 年 4 月 1 日 再生可能エネルギー発電事業に係る業務の委託について（運用指針）を参照

## 10月から開始する「FIT初期支援スキーム」 の買取価格が設定されました

第 102 回調達価格算定委員会で「初期投資支援スキームについて」の資料が公表されました。3月21日、経産省 HP にて 10 月からの「初期投資支援スキームについて」の買取価格が設定されました。

事業用太陽光（屋根設置）初期投資支援価格：19 円／kwh 程度を 5 年間＋ 8.3 円／kwh 程度を 15 年間・住宅用太陽光 初期投資支援価格：24 円／kwh 程度を 4 年間＋ 8.3 円／kwh 程度を 6 年間。ただし、住宅用の 2027 年度の取扱いについては調達価格委員会にて議論。

※初期投資支援価格とは初期投資の回収を早めるために最初高めに設定し後に下げる内容です  
金融機関からの借入れがしやすくなると見込めでの設定のようです

※詳しくは 1 月 30 日の第 102 回調達価格算定委員会の資料をご確認ください

## 3月11日「金属盗難対策法」の法案が 閣議決定しました（公布後、1年以内に施行する）

### 1. 金属くず買取り業者への規制

営業を届性にする  
客の本人確認や取引記録の保存、盗品の疑いがある場合の警察への申告義務化

窃盗実行犯

令和 4 年 9 月から令和 5 年 7 月までの間、茨城県など 5 県下の太陽光発電施設における銅線ケーブル窃盗事件でカンボジア人 7 名を逮捕（うち 6 名が不法残留状態）。【群馬県警察】  
 ➡ 窃盗事件 76 件（被害総額約 2 億 5,400 万円相当）を送致。

被害に遭った太陽光発電施設



押収した犯行車両・犯行用具及び盗品の銅線ケーブル



売却

盗品は、群馬県の金属くず買取り業者によって買い取られていた。  
 更に、別のカンボジア人グループが茨城県の太陽光発電施設から窃取した銅線ケーブルも、同一の金属くず買取り業者によって買い取られていた。

買取り業者

太陽光発電施設における金属ケーブル窃盗の事例  
（金属盗難に関する検討会資料より）

### 2. 犯行に用いる工具の規制

正当な理由なくケーブルカッターなどを隠蔽懈怠すること

令和 6 年 5 月に東京都西多摩郡日の出町の太陽光発電施設から銅線ケーブルおよそ 840 メートルを盗んだ疑いで、同年 10 月にタイ人 4 名を逮捕（4 名とも不法残留）。【警視庁】

➡ このグループが 1 都 7 県の太陽光発電施設で 60 件以上の窃盗を繰り返し、被害総額は 1 億円を超えるとみて捜査中。

被害に遭った施設



押収した犯行用具



ボルト  
クリッパー



ケーブル  
カッター

太陽光発電施設における金属ケーブル窃盗の事例  
（金属盗難に関する検討会資料より）

### 3. 盗難被害を予防

都道府県警察から太陽光発電事業者などへ防犯情報を共有する



## 地区会レポート

### 関東地区会 東京開催（2025年1月31日）



高野エリアマネージャー  
挨拶

東京都千代田区のエナジー・ソリューションズ(株)様の大会議室で関東地区会を開催いたしました。高野浩エリアマネージャーの挨拶の後、新入会の合同会社ユアサイト本間鉄生氏、(株)ライジングコーポレーション山川敦司氏の会員証授与がありました。



合同会社ユアサイト  
本間氏



(株)ライジングコーポ  
レーション山川氏

1部・(株)シールエンジニアリング取締役菊池氏より「需要家から要望が増えている自家消費太陽光+蓄電池併設設置」について学びました。設



(株)シールエンジニアリング  
菊池氏

計用ヒヤリングシートの使い方・予算や運用方法から蓄電池容量最適化設計の方法や設置における電気系統・回路・自立盤・制御について説明を受けました。

2部・(有)アミカブルサービス代表取締役高野浩氏から国内で最も太陽光発電の盗難が多い茨城県の事例を聞きました。(株)RE-INNOVATIONS塚原幸司氏からは、低圧発電所において現在進められている盗難対策である盗難・災害対策サポート「つよくん」の説明がありました。また、当協会常務理事 大槻浩之氏より盗難保険や火災保険の今後の状況などの説明を受けました。



(有)アミカブルサービス  
高野氏



(株)RE-INNOVATIONS  
塚原氏

3部・意見交換会を行いました。場所を移動して情報交換会も行いました。

## 地区会レポート

### 近畿・北陸地区会 大阪開催（2025年2月14日）



青木エリアマネージャー  
挨拶

大阪市新大阪、丸ビル新館の400号会議室で近畿・北陸地区会を開催しました。はじめに、青木エリマネージャーの挨拶がありました。

1部・「全国に広がる系統用蓄電池について」と題してoffice SOTO代表山下幸恵氏から系統用蓄電池とはどんなものか、系統用蓄電池のビジネスモデルとはどのようなものか、系統用蓄電池の導入状況について、補助金事業の採択結果等を学びました。また、会場から電力容量市場についての質問がありましたが、とてもわかりやすい説明をいただきました。続いて、系統用蓄電池の用地斡旋についての実例説明が当協会専務理事 武中進氏からあり



office SOTO  
山下氏

最後に情報交換会を行いました。



当協会専務理事  
武中氏



BTGグリーンエナジー(株)  
田窪氏

ました。次に、新入会の会員BTGグリーンエナジー(株)開発部長 田窪正勝氏に会員証の授与を行いました。

2部・「参加者による意見交換会」との内容でoffice SOTOの山下講師を交えて系統蓄電池等の意見交換を行いました。

3部・(株)リミックスポイント近藤文男氏より工場等太陽光設置に係る2024年補助金の総括（採択傾向）と来年度に向けた対策、需要家主導補助金に係る2024年補助金の総括（採択傾向）のお話がありました（ZOOM出演）。

最後に情報交換会を行いました。

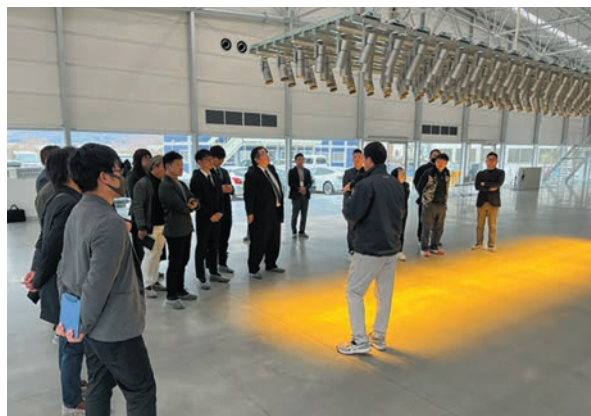


意見交換

### 中国・四国地区会 岡山市開催（2025年2月12日）

(株)パワーエックス（大型蓄電池）岡山工場見学会を開催しました。

1部・大型蓄電池の製造ラインを見学しながら詳細な説明を受けました。



ライン入口説明

2部・蓄電池型急速充電装置について商品説明と販促用のセミナーを受講。実際の採用事例や提案事例も多く説明があり理解できたと思います。



セミナーの様子

3部・産業用定置型大型蓄電池（358kwh）および系統蓄電池の商品説明と販促用のセミナーを受講。保守点検など多くの質疑がなされ運用について確認がなされました。



集合写真

### 中部地区会 名古屋市開催（2025年3月14日）



恩田エリアマネージャー  
挨拶

1部・自家消費太陽光発電提案時に要望される併設蓄電池について。蓄電池を停電時の非常用電源として導入する際には、優先順位が重要となります。停電時に動かしたい負荷の確認をヒヤリングシートにより説明してゆくことが大事です。他にピークカット目的や余剰吸収して活用など目的はさまざまですが、今は蓄電池により運転モードのスケジュール化が可能です。

2部・10月から変わる住宅用太陽光発電FIT価格に対応する販売方法。FIT価格が4月から15円/kwh×10年に変わり、さらに10月から24円/kwh×4年+8.3円×6年の2段階変更に対し、それぞれの比較シミュレーションを示すことで顧客に正しい選択をしてもらえるよう説明。一方でエコキュート+電力契約による比較や蓄電池活用比較など目に見えぬ形の提案を説明。顧



講師 (株)シールエンジニアリング  
菊池氏



講師 (株)松原電機  
松原氏

客に自家消費率や屋根の大きさなど多様にわたる比較が重要であることを実際の数値から実感していただく。

3部・セミナー受講によるフリートーク意見交換がありました。



意見交換



## 地域密着・エネルギーマネージメント で貢献いたします スマート環境デザイン(株) (東北エリア会員)

当社は1988年、父が個人事業で電気工事店を創業したのが始まりです。おかげさまで地域密着で創業37年目となりました。3.11東日本大震災をきっかけに再エネの重要性を認識し、当時住宅用太陽光発電システムの販売・工事から参入しました。



現在では、太陽光発電以外の関連する省エネ商材全般を取り扱い、太陽光発電に限らず複合提案でいかに省エネができるかの提案を得意とする地域エネ

ルギーマネージメント屋さんとして地域に貢献させていただいております。

今後もさまざまな省エネルギー商材の知識や技術を身に付け、地域の皆様に再エネの素晴らしさを知っていただき、さらなる地域貢献にお役に立てるように邁進していく所存です。



### ・会社概要・

社名：スマート環境デザイン(株)  
所在地：岩手県一関市花泉町金沢字石名坂17  
代表者：菅原正敬  
創業：1988年  
主な事業：太陽光発電設備や蓄電設備を主軸に省エネ商材全般を販売・設計・施工、一般電気工事

## 太陽光発電販売施工会社として 2024年6月東証TPM市場上場、 さらに進化し続ける会社でありたい (株)ライジングコーポレーション (関東エリア会員)

当社は「次の世代へできること、次々と。」をコーポレートスローガンとして、当社および子会社3社からなるグループにおいて、①住宅および工場・倉庫の産業用の太陽光発電システム・蓄電池等の販売・施工・メンテナンス等を行う「エコソリューション部門」、②ネット・ゼロ・エネルギーハウス

(ZEH住宅)等の設計・請負・販売や省エネリフォームおよび倉庫・店舗・ガレージ等の設計・建築等を行う「ビルディングソリューション部門」、③太陽光発電施設での売電事業等の次世代のための新規事業開発を行う「NBソリューション部門」での事業活動を行っております。

お陰様で、2024年6月には東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場することができました。

今後も、全国的な施工ネットワークと、住宅・倉庫建築と省エネシステムの提案・施工をワンストップで提供できる幅広い対応力を強みとして、お客様の事業拡大と社会課題解決に貢献する「GXソリューションパートナー」として、日本一のオンリーワン企業を目指してまいります。

### ・会社概要・

社名：ライジングコーポレーション(株)  
所在地：本社：大阪府池田市神田2-6-25/東京オフィス：東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル7F  
代表者：大都英俊  
創業：1996年  
主な事業：○エコソリューション部門(住宅・法人)住宅用および産業用の太陽光発電・蓄電池等の省エネ機器の提案から販売、施工まで、省エネ機器の導入検討段階から導入後のサポートまで一気通貫で行っています。  
○ビルディングソリューション部門  
ZEH住宅の設計・請負・販売、省エネリフォームおよび倉庫・店舗・ガレージ等の設計・建築など



## 「自然エネルギーの未来を支える O&Mプロ發明集団」 ～グリーンエナジー・ファシリティーズの挑戦～ (株)グリーンエナジー・ファシリティーズ (中国・四国エリアエリア会員)

株式会社グリーンエナジー・ファシリティーズは、自然エネルギーを活用し、「ゆたかに暮らす」と「社会に貢献する」を新たなスタンダードにすることを目的し、株式会社グリーンエナジー&カンパニー(東証グロス市場証券コード1436)のグループ会社として2023年に発足しました。

当社は、太陽光発電が「自らエネルギーを生み出す」経済性を併せ持つ革新的な技術だと捉えています。この技術を安定的かつ長期的に維持するためには適切な管理が不可欠だと考えており、O&M事業



(点検・修繕・リパワリング等)として2025年3月現在約1,000区画以上の太陽光発電所の管理・メンテナンスを提供しています。

<最近の取り組み>

①太陽光発電所内の新たな雑草対策として、素人でも簡単に施工することができる、低コストな「抑草シート」をリリース致しました。

②作業省人化の研究・開発として、AIを活用したロボット装置による除草技術の検証実験を進行中です。



### ・会社概要・

社名：(株)グリーンエナジー・ファシリティーズ  
所在地：徳島県板野郡松茂町中喜来字群恵39-1  
代表者：石川大門  
創業：2023年7月  
主な事業：GXグリーンエネルギー発電施設のO&Mの提供

## 持続可能な暮らしをつくる会社 (株)RST (中部エリア会員)

弊社は静岡県静岡市を拠点に、「持続可能な暮らしをつくる」ことを理念とする企業です。「事業を通して地域に貢献したい」という想いを根幹に据え、新たな「価値と感動」を提供することをモットーに、地域に根差した活動を行っております。2011年の東日本大震災を契機に、南海トラフ地震のリスクが懸念される地元静岡において、災害に強い再生可能エネルギーの導入に取り組み始めました。



現在では、家庭用太陽光発電システムや蓄電池の施工販売に加え、ニーズに応じてFIT・FIP・完全自家消費型・非FITといった産業用屋根上設備、ソーラーカーポート、野立て太陽光発電所の提案・設計・施工まで一貫して対応しております。2019年からは、日本初のTESLA認定販売施工会社の一社として、TESLA Powerwallの普及にも注力し、高い実績が評価されプレミアムインストーラーにも認定されています。

今後も再生可能エネルギーの推進に加え、リフォームや屋根・外壁塗装などを通じて、SDGsの掲げる「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。



### ・会社概要・

社名：(株)RST  
所在地：静岡県静岡市駿河区北丸子2-37-11  
代表者：山崎訓志  
創業：2004年  
主な事業：太陽光発電システム・蓄電池・オール電化・塗装・リフォームの販売、施工、卸販、コンサルティング



当協会はエネルギーマネジメントアドバイザー（以下、EMA）認定センターを運営しており、EMAの資格認定を行っています。

EMA資格認定は一般の方々に受講していただいている通常の講座のほかに、日本電子専門学校と東北電子専門学校がアカデミック認証機関となっており、専門学校に通う学生達が授業のカリキュラムで講義を受講し、資格取得を目指しています。



## EMA認定校訪問

### 日本電子専門学校

1月16日に日本電子専門学校（東京都新宿区）のEMA授業を取材しました。授業を受けていたのは電気工事技術科2年の学生達です。

当日はテキスト（第4版）第9章「住宅における省エネ化ゼロエネ化の技術」の高効率換気装置、高効率給湯設備の講義が行われていました。3名の学生にEMAの授業を受けた感想をうかがいました。



小俣さん 永野さん 末永さん

・政府や企業が何を考えているのか、どのように環境活動を捉えているのか学ぶことができました。また、そうした環境活動が投資にも影響を与えているということが驚きでした（小俣）

・家業の関係で、もともと太陽光発電に興味があり、また施工の手伝いもしているので、EMAを

学ぶことで多角的に考えることができるようになりました（永野）

・以前、JECA FAIR～電設工業展のレポートを書いたときに、カーボンニュートラルについて調べていたので、授業であらためて学ぶことができ、とても有意義でした（末永）

学生達がEMA資格を取得することにより、社会に出てから役立つことが増えればうれしい限りです。



授業風景



集合写真

## 協会員企業による専門学校授業への講師貢献

### 東北電子専門学校

東北エリアの協会員である(株)パートナーズ（宮城県気仙沼市 代表取締役澤井仁氏）とミナト電気(株)（宮城県仙台市 代表取締役 佐々木俊輔氏）は、東北電子専門学校に社員を毎年講師として派遣し、太陽光発電関連の授業を行っています。今



晴山さん 布施さん 菅原さん

回は2月26日の教室での講義と27日の太陽光発電施工実習、2日間の授業の様子を取材しました。

★1日目：2025年2月26日（水）

9:00～11:35

東北電子専門学校 1105教室

（宮城県仙台市青葉区花京院）

講師：(株)パートナーズ 布施亮氏／菅原雄友氏

ミナト電気(株) 晴山輝氏

この日の講義のテーマは「太陽光発電の動向とメンテナンス」。3名の講師が、太陽光発電の基礎知識、営業の基本、太陽光発電の未来、O&Mの基本、O&Mの重要性など各自が得意とする分野について授業を行いました。

布施講師は太陽光発電の仕組みをメリット・デ

メリットも含め、わかりやすく解説。営業という立場から、営業するには新しい知識が常に必要であり、今日説明したことは学生達が就職するときには古くなってしまいうから、情報と知識のアップデートが大切であることを伝えていました。

菅原講師はO&Mについて会社としてどのように対応しているのかを例をあげて説明。O&Mの必要性が高まってきていることを施工技術者としての視点で伝えると同時に、技術のみならず顧客とのコミュニケーションの重要性を強調していました。

晴山講師は保守点検の必要性和長期的に安全な

★2日目：2025年2月27日（木）

9:40～16:10

東北電子専門学校 岩沼実習棟

（宮城県岩沼市下野郷字菱沼）

講師：ミナト電気(株) 豊島一雄氏

(株)パートナーズ 菅原雄友氏

この日は模擬屋根を使った施工実習が行われました。豊島講師の説明が非常に分かりやすく、また親しみやすい雰囲気 학생들이にも伝わるのか、終始和やかな雰囲気の中、研修が進められました。

午前中はスレート屋根の施工。午後は金属屋根の施工、少し時間に余裕があったため、瓦屋根への施工解説も加え、それぞれの違いと注意点が説明されました。一つ一つ丁寧に設置場所を決めていく作業は想像以上に根気のいることを再認識できました。学生達も実際にビス打ちに挑戦することで実感が湧いたのではないのでしょうか。また施工の工法についての説明はもとより、スケールの使い方やボルト・ナット・ワッシャーの基本的な役割など、実習する中で派生した工具の使い方なども的確でわかりやすく話してくれました。

協会員企業のみなさんが、新時代を切り拓いていく若い世代に知識と技術を伝えている姿は協会



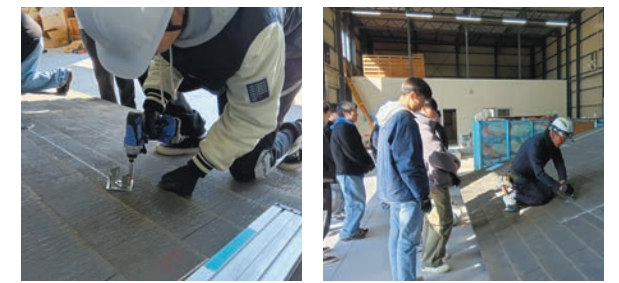
菅原さん 豊島さん

電源につなげていくにはメンテナンスの力が大きいことを説明。目視による点検はもちろんのこと、機器による点検で判明することの事例も挙げ、データによる報告書を作成して分かりやすく顧客に提示することが顧客の理解や安心感へつながることを教えていました。

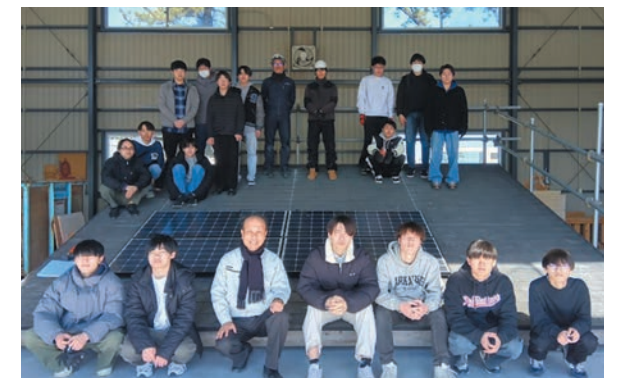


授業風景

の理念にも通じるものがあり、また施工技術者の後継者不足が叫ばれている昨今、澤井・佐々木両社長が育てた若手社員が、彼らの弟分に当たる学生達を教えるということは、一昔前と方法は違っていきことに変わりはなく、そのすばらしさを垣間見せてもらいました。



授業風景



集合写真